

スパークル法律事務所

取締役や経営を巡る紛争解決や 企業のコンプライアンス問題の克服のために 全力を尽くします

3周年を機に丸の内へオフィス移転 クライアントの皆様とともに成長中

スパークル法律事務所は、企業法務を主に扱う「次世代型」の法律事務所です。設立3周年を迎えた2024年4月、東京・丸の内にオフィスを拡大移転し、経験豊富な2名のパートナー弁護士が参画するなど、事務所は著しくかつ着実に成長を遂げています。

三谷革司弁護士は、国内法律事務所のパートナーとして、多数の上場企業や外資系グローバル企業のクライアントの案件に携わった後、スパークル法律事務所を設立しました。

「才能が『輝く(sparkle)』場を作りたいとの思いで事務所を設立しました。多くの企業と同様に、弁護士自らもテクノロジーを使いこなして作業を効率化し、クリエイティブに頭を働かせることが必要だと考えています。ビジネスの中心地である丸の内への移転や実績ある弁護士の加入により、大規模案件を含め、クライアントにより高品質なリーガルサービスを提供できる環境が更に整いました。」(三谷弁護士)

「クライアント・フレンドリー」の姿勢と BEST NEW LAW FIRM受賞

スパークル法律事務所では、問題の解決策をクライアントと共に考える「クライアント・フレンドリー」という姿勢を大切にしています。よく言われる「クライアント・ファースト」からより一歩先に進むという思いを込めた言葉です。

「私たちは、問題の解決策を共に考え、よりクライアントに近いところにスタンスをとりたくと考えています。クライアントの事業や社内カルチャー、背景の事情までしっかりと理解し、信頼

関係を構築することで、真のニーズに応えるという姿勢を大切にしています。」(三谷弁護士)

2023年12月には、ASIA BUSINESS LAW JOURNALが主催する「Japan Law Firm Awards 2023」において、「BEST NEW LAW FIRM」として選出されました。

「こちらの賞は、国内外のクライアントの皆様のご推薦によって選ばれる賞であり、日頃の姿勢を評価していただいたと光栄に思っております。」(三谷弁護士)

プライム上場企業からスタートアップ 多岐にわたる企業法務

スパークル法律事務所では、プライム上場企業からスタートアップまで、ステージの異なるクライアント企業からの幅広い企業法務にまつわる相談に対応しています。

「私自身の専門分野を聞かれると、ジェネラル・コーポレートやM&Aと答えることが多いですが、訴訟や競争法対応の案件も多く扱ってきました。弁護士が企業にとって頼れるリーガルアドバイザーであるためには、多くの法分野の業務に経験があり、横断的なアドバイスができることが必要であると考えています。」(三谷弁護士)

複雑・多様化する時代の ジェネラル・コーポレート

第一東京弁護士会の会社法研究会での研究・執筆活動がきっかけで、小幡映未子弁護士は、スパークル法律事務所に参画しました。小幡弁護士は、金融・再生エネルギー法務等に強みを持ち、社外役員としても経験を有しています。

「一般企業法務では、企業が取り扱うビジネスが多種多様になるに伴い、関連する法律も多岐に



皇居・お濠も臨める東京・丸の内所在のオフィスを背景に

わたります。また、価値観が多様化する中、企業は、これまでとは異なる法的リスクを抱えることもあります。金融・再エネの分野が関連することもあり、これまでの知見・経験が一般企業法務を取り組むうえで役立っています。」(小幡弁護士)

多様な法務サービスの提供

スタートアップ法務・人事労務、M&Aに強みを持つ大城章顕弁護士が参画したことで、スパークル法律事務所の法務サービスは厚みを増しました。大城弁護士は、農業をはじめとした一次産業に関する法務などにも取り組んでいます。

「スタートアップ法務や一次産業に関する法務に関する書籍を出版したり、ブログで情報提供をしたりしながら、様々な企業・事業者に多種多様な法務サービスを提供しています。AIやロボット法務など、新しい分野にも積極的に取り組んでいます。」(大城弁護士)

「弁護士が提供する価値を最大化する」 「挑戦」のプラットフォーム

「弁護士が提供する価値を最大化する」という理念の下に集まったスパークル法律事務所のメンバー間では、新しいものへの「挑戦」の気風も共有されています。

弁護士事務所及び外資系金融機関の法務部での豊富な経験を有する齊藤真琴弁護士は、リスクマネジメント・サービスの一環としてバックオフィ

ス支援を行うコンサルティング会社であるファースト・コンパスを起業しており、「挑戦」の一つの例と言えます。

個別の弁護士業務においては、AI契約書レビューや、オンライン書籍サービスなどを導入するとともに、ライフスタイルに合わせたリモートワークも活用されています。事務所内会議での自動音声入力の活用や各種SNSでの発信等、テクノロジーを積極的に活用しようという「挑戦」も自然に起きています。

「リモートワークの環境も整えられており、在宅で業務を行うことも可能です。通勤の負担が減ることで業務や家事に割く時間を確保することができ、重宝しています。」(津城耕右弁護士)

「三谷弁護士の様々な情報発信や、昨年の本記事を見て2024年8月に入所しました。多岐にわたる企業法務を取り扱っていることやスパークル法律事務所の雰囲気を感じることができそうですので、是非各種発信をご覧ください。」(川島龍明弁護士)

丸の内から更なる飛躍

スパークル法律事務所は、1年前と比較して、丸の内に事務所を移転し、所属弁護士数も2倍になる等、飛躍を続けています。



SPARKLE LEGAL
TOKYO

スパークル法律事務所
弁護士数:6人(2024年11月末現在)
代表弁護士:三谷革司(第一東京弁護士会)
〒100-0005
東京都千代田区丸の内2-2-1 岸本ビル10階
TEL:03-6260-7155
URL:https://sparkle.legal/
Mail:info@sparkle.legal

各種SNSにて事務所情報発信中!

X :https://x.com/SPARKLE_LEGAL
Note :https://note.com/sparklelegal
Facebook :https://www.facebook.com/sparkle.legal